

予算、収支計画及び資金計画等変更（案）の概要

I. 予算、収支計画及び資金計画等の追加、変更について

現第2期中期計画期間中の予算、収支計画及び資金計画等に以下のとおり、追加、変更を行う。

【追加、変更点】

- ・中央市民病院の予算、収支計画及び資金計画等（平成29～30年度）について、先端医療センター病院統合後の計画に変更する。
- ・神戸アイセンター病院の予算、収支計画及び資金計画等（平成29～30年度）を追加する。
（※西市民病院、西神戸医療センターについては現状の中期計画通りとする）

II. 中央市民病院の収支計画等について

1. 前提条件

中央市民病院、先端医療センター病院の平成29年度予算をベースとし、主に以下の要素を勘案する。

※投資を含め以下の計画は、見込である。具体的な金額、内容は各事業年度の予算編成過程において決定される。

主な変動要素

（1）土地、建物の買取

先端医療センター病院は、現在、神戸都市振興サービス株式会社（以下、都市振興サービス）から建物を借り、賃料を支払っているが、中央市民病院に統合するにあたり、機構が病院関連部分の土地・建物の買取を行う。

（2）医療機器等の整備

原則、先端医療センター病院の機器を活用（買取または再リース）するが、必要な医療機器については新規購入を行う。情報システムについては必要となる改修を実施。

2. 投資（医療機器及び施設整備）

第2期中期計画期間中の投資として、以下を見込む。

区 分	平成29年度	平成30年度
施設、医療機器等整備	72.6 億円 （うち、①先端統合にかかる 土地・建物 45.5 億円 施設整備 5.7 億円 医療機器等 12.7 億円 ②中央本館にかかる 放射線部門システム 3.9 億円 医療機器等 4.8 億円）	29.2 億円 （うち、電子カルテ 25.0 億円 医療機器等 4.2 億円）

3. 収支計画及び資金計画

これらの前提条件及び変動を踏まえ、第2期中期計画期間における中央市民病院の経常収支及び当期純損益は黒字（平成29年度：121百万円、平成30年度：119百万円）の計画としている。

また、資金収支も黒字の計画としている。

4. 経営指標

(1) 診療情報

○一般

	H27実績	H28実績	H29計画	H30計画
病床利用率	92.5%	94.1%	93.5%	93.3%
（うち本館）	(92.5%)	(94.1%)	(93.6%)	(93.6%)
（うち南館）	(-)	(-)	(90.0%)	(90.0%)
1日当たり入院患者数	638人	649人	668人	700人
（うち本館）	(638人)	(649人)	(646人)	(646人)
（うち南館）	(-)	(-)	(54人)	(54人)
入院診療単価	93,246円	95,833円	96,079円	94,683円
（うち本館）	(93,246円)	(95,833円)	(97,146円)	(97,146円)
（うち南館）	(-)	(-)	(65,213円)	(65,213円)
1日当たり外来患者数	1,967人	1,989人	2,021人	2,058人
（うち本館）	(1,967人)	(1,989人)	(2,012人)	(2,035人)
（うち南館）	(-)	(-)	(23人)	(23人)
外来診療単価	17,717円	19,172円	19,670円	20,191円
（うち本館）	(17,717円)	(19,172円)	(19,629円)	(20,099円)
（うち南館）	(-)	(-)	(28,595円)	(28,595円)

※ 税抜数値による

※ 南館：先端医療センター病院の統合後の名称

※ 1日当たり入院・外来患者数について、H29計画は南館の開設予定が平成29年11月1日であるため、本館と南館の内数の合計と一致しない

(2) 主要指標

	H27実績	H28実績	H29計画	H30計画
経常収支比率	99.7%	99.7%	100.3%	100.3%
当期経常損益（百万円）	▲92	▲122	123	121
当期純損益（百万円）	▲124	▲133	121	119
資金収支（百万円）	▲1,435	▲900	602	621

Ⅲ. 神戸アイセンター病院の収支計画等について

1. 前提条件

神戸アイセンター病院の平成29年度予算をベースとし、主に以下の要素を勘案する。

※投資を含め以下の計画は、見込である。具体的な金額、内容は各事業年度の予算編成過程において決定される。

主要要素

(1) 建物の買取

都市振興サービスが建物（アイセンター）を整備し、竣工後、機構が病院関連部分の買取を行う。

(2) 医療機器等の整備

原則、中央市民病院及び先端医療センター病院で保有している機器を移設し、その上でなお必要となる医療機器の新規購入、情報システムの整備を行う。

2. 投資（医療機器及び施設整備）

第2期中期計画期間中の投資として、以下を見込む。

区 分	平成29年度	平成30年度
施設、医療機器等整備	38.1 億円 (うち、建物 32.2 億円 医療機器等 5.9 億円)	-

3. 収支計画及び資金計画

これらの前提条件を踏まえ、第2期中期計画期間における神戸アイセンター病院の経常収支及び当期純損益は赤字（平成29年度：▲161百万円、平成30年度：▲13百万円）の計画としている。

なお、第2期中期計画期間以後ではあるが、開設3年目の平成31年度において当期純損益の黒字を見込んでいる。

資金収支は、平成29年度は赤字であるが、平成30年度は黒字の計画としている。

4. 経営指標

(1) 診療情報

	H29 計画	H30 計画	(参考)H31 見込
病床利用率	55.0%	61.5%	64.7%
1日当たり入院患者数	16.5人	18.5人	19.4人
入院診療単価	90,910円	90,910円	90,910円
1日当たり外来患者数	195.1人	218.1人	229.6人
外来診療単価	16,015円	16,015円	16,015円

※ 税抜数値による

(2) 主要指標

	H29 計画	H30 計画	(参考)H31 見込
経常収支比率	76.2%	99.2%	102.1%
当期経常損益（百万円）	▲161	▲13	36
当期純損益（百万円）	▲161	▲13	36
資金収支（百万円）	▲133	244	293